

「がんばれ！」よりは、「まけないで！」エールを！

「がんばろう！日本」、「がんばれ！東北」、「がんばれ！宮城」、「がんばれ！仙台」等々、「がんばれ！」コールが日本中に溢れているが、津波で自宅をなくし他の町で仮住まいしているメル友からのメールに次のような部分があった。

【 私は、個人的にがんばろう石巻とか宮城とか、がんばろう！という言葉はあまりピンときません。

女川第二小学校の教頭先生の言葉に”負けねちゃ！女川”、渡波のイオンに掲げている“絶対、負けない！石巻”、この「負けない」という言葉が私にはあっているかなと思っています。

どうしても、心が折れそうになります。

だからこそ、自分自身に言い聞かせるように「自分自身に負けるな！」と、「いつかはきっと！」という思いで毎日生活しています。

“がんばろう”なんて、そんな生易しいものではありません。

でもね、人のつながりがこんなに有難いな～と覚えることが本当にたくさんあります。人ってこんなに、温かな～、素晴らしいな～と日々を感じながら生活しています。

いろんな意味で復興するには、まだまだほど遠いですが、一步一步近づいていければな～と思っています。

今度は、どんな家を建てようかと夢を語らい、みちのくをご案内できるように新型車を入れたいな～と希望を話し合い、今ある物で工夫して生活していこうと確認し合っています。】

確かに、被災された方々は頑張ろうにもその礎である自宅、仕事、家族、等々をなくし、0（ゼロ）からでなく－（マイナス）からの出発だけに、悲しんでうつむいているだけでは前は見えないので、兎にも角にもまずは前を向いて「自分自身に負けるな！」こそ大事かと思う。

最近 TV で毎日流れている大震災被災地応援リレーソング「アンパンマン体操」のエール台詞は、確か「まけないで！」。

また、沿岸地区の幼稚園に勤務する元学生の保育士から、園児3名を津波で亡くし、「子どもたちのこと思い出すだけで涙が溢れてくる毎日です。」とメールがあった。

この元学生のように、これからの人生に様々のそれぞれの心の荷を背負う人たちも多いと思う。

「自分の体験は、自分一人だけのもの」、「痛みは辛抱できるが、悲しみは辛抱できない。」と言われるように、自身の体験からの悲しさは辛抱せずに口に出した方がいいと思うので、そうした方々の想いをまずは傾聴しましょう。